



山形大学校友会
Yamagata University Alumni Association

20
OCTOBER 2022

校友会会報

投稿型
情報サイト

山形大学に関わる
すべての方が繋がるために



みんな
投稿してね！

交流プラットフォーム



山形大学校友会
交流プラットフォームを開設しました！

Contents

校友会 NEWS	2
短期派遣留学生校友会支援金贈呈式を開催しました	
交流プラットフォームを開設しました	
校友会学生幹事コーナー	4
校友会学生幹事の皆さんに3つの質問をしました！	
TOPICS	6
INFORMATION	8

「交流プラットフォーム」の
サイトはこちらから
ご覧ください。



校友会キャラクター ギンちゃん
(登録商標第 6447093 号)

校友会とは…

校友会は、山形大学の発展に寄与するため、学生の学業及び課外活動等への助成並びに全学的なキャンパス間の交流活動に支援を行うとともに、会員相互の親交を図り、「山形大学コミュニティ」の醸成・強化に資することを目的としております。

| 校友会 | NEWS |

1 短期派遣留学生校友会支援金贈呈式を開催しました



贈呈式に参加された皆さん

令和4年8月3日(水)、法人本部第一会議室において、2022年度山形大学短期派遣留学生校友会支援金贈呈式を開催しました(担当: 小白川キャンパス事務部)。

コロナ感染症の影響で2年ぶりの開催となった贈呈式には、派遣留学生19名のうち15名が参加。校友会事務局からは樋口浩朗事務局長が出席しました。

冒頭、林田光祐副学長(国際交流担当)から、派遣留学生一人ひとりに目録が贈呈されたあと、「新型コロナウイルス感染拡大で不安はあるでしょうが、しっかり準備すれば予想外のことに柔軟に対応できます。充実した留学生活を送り、笑顔で帰ってきてください」と激励の挨拶がありました。

これを受け、派遣留学生を代表して、森口二千翔さん(人文社会科学部4年)が、「私たちの生活は2020年に一変してしまいましたが今回の短期派遣留学が実現して本当にうれしい。山大への入学を志願したのはグローバル人材になりたいからで、地域社会の起爆剤として東北の地に恩返ししたいと考えています。今回の留学に尽力いただいた山形大学職員、校友会の皆様へ感謝申し上げます」と挨拶を述べました。

校友会事務局としても、派遣留学生の皆さんが充実した留学生活を送り、笑顔で帰国することを願っております。



派遣留学生一人ひとりに目録を贈呈

2 交流プラットフォームを開設しました



山形大学校友会校友プラットフォームを開設しました!

交流プラットフォームの概要

山形大学校友会は、「With Coronaの学生支援事業」として投稿型情報サイト「交流プラットフォーム」を構築し、2022年6月1日に公開しました。

利用については、3種類(「交流会員」、「正会員」、「卒業生会員」)の 카테고リーに登録いただくことにより、よりユーザーニーズに適った交流が可能となっています。

「山形大学将来ビジョン」の“つなぐちから”のDXツールとして、本学学生・教職員はもとより、卒業生、保護者、地域の皆さま等、本学に関わるすべての方のご利用をお待ちしております。

交流プラットフォームのポイント

サイトには、各キャンパスのイラストマップを掲載し、四季折々の風景をドローンや360度カメラで撮影した映像で楽しむことができます。

交流プラットフォームにご登録いただくと、さまざまなジャンルごとに会員同士がオンラインコミュニティを通じ連絡を取ったり、情報交換やイベントの告知・報告ができる各種機能を利用できます。

「サークル」、「研究室」、「同窓会・校友会」、「学部・学科」、「施設」の 카테고リーがあり、独自に情報を発信することができます。

ほかにも「交流広場」として「山形情報広場」「趣味の広場」などさまざまな 카테고リーがあります。自分に合った 카테고リーを見つけて、情報を発信してみてください。

今後は会員の皆さまのご要望に応えながら、さらに機能を充実させていきます。



プラットフォーム

交流プラットフォームの使い方

①QRコードを読み込む



または 大学のHPから開く



②交流プラットフォームが開く



③下の方まで行って 「会員登録」を押す



④「新規登録」 を押す



⑤交流会員(コメント投稿のみ) 正会員(画像等投稿可能) のいずれかを選んで登録する



⑥「広場へ投稿」をする ※正会員のみ可能



⑦投稿にコメントをする ※全会員可能



ご登録、ご投稿をお待ちしております！

校友会 学生幹事コーナー

校友会学生幹事の皆さんに 3つの質問をしました！

- 1：この夏休みに何をしましたか？
- 2：高校から山形大学に入学して変わったこと、変化を教えてください。
- 3：これから挑戦してみたいことは何でしょうか？

1：いろんなところへ旅行に行きました！自然遺産を見たり、マリナクティビティをしたりとたくさん自然を感じられ、素敵な夏休みを過ごせました！

3：コロナ禍でしばらく行けてなかったので、残りの学生生活の間に、海外に行けたらと思います！1年生のときからフランス語を学んでいるので、フランス語圏を訪れたいです！



井上愛理さん
人文社会科学部4年



小野寺佑介さん
工学部1年

1：自動車学校に通っていました。男と女で態度を変える指導員、初学者にパワハラを繰り出す指導員、優しい指導員…。社会の多様性というものを身をもって感じる事ができ、タメになりました！無事に卒業できました。

2：夜更かしが多くなりました。深夜に徘徊してみることもありですが、深夜にしか味わえない街の雰囲気、風の香り、誰もいない道路などがたまりません。山形の夜を独り占めしている気分になります。

3：酒田市にある飛鳥を自転車で散策してみたいです。「日本の渚 百選」にも選ばれた荒崎海岸、海賊の砦であったとされる館岩に刻まれた古代の絵文字、普段見かけることがない珍鳥をみてみたいです。



小笠原彩聖さん
人文社会科学部4年

1：友人と東北一周旅行に行ってきました！（新潟も）。新潟で長岡花火、秋田でなまはげ、青森でねぶた祭り、岩手でわんこそばに行ってきました。1週間の旅行は最高の夏の思い出になりました。

2：挑戦するようになったことです。授業の履修のみだけではなく、資格取得、サークル活動、ボランティアなど積極的に参加するようになりました。また、これら課外活動の参加によって学内外の知り合いが増え、視野が広がりました。

3：語学に力を入れていきたいです。まずは英検準1級の取得！英語はいちばん力を入れたい分野です。2級より上の級を取得していなかったので学生のうちに頑張ります。次に中国語です。中国語検定4級取得を目指します！



片岡小春さん
工学部1年

1：タイのバンコクにある日本企業で1ヶ月間インターンシップを行いました。1ヶ月間で主に使った言語は日本語と英語でしたが、タイの方々と触れ合う機会が多かったこともあり、終わる頃にはタイ語の単語も多く覚えることができました。初めての海外経験で多くの人に会い、大きく成長できた1ヶ月だったと実感しています。

2：大学を卒業した先の将来の目標が具体的になった、ということが一番大きな変化であったように感じます。先輩や先生の話を通じて直接聞く機会をいただけたので、自分の所属する分野でどのような活躍ができるのかを具体的に知ることができたことが大きな要因であると思います。自分が何をすればいいのかという目標が立てやすかったです。

3：まずはTOEICで800点台をとるだけの知識（文法や単語）を身につけること、そして英語で話すスキルを身につけていきたいです。この技術・知識はどこに行っても役に立つと考えています。また、大学生のうちにさまざまな国を旅してみたいと思います。



佐藤珠穂子さん
人文社会科学部1年

- 1: 夏休みは、引越しの準備をしてました! 仙台から通っていたのですが、諸事情あって、一人暮らしをスタートすることになったんです。家具家電を揃えたり、自分の部屋を片付けたりと、身の回りの整理をしていました。
- 2: 高校の時よりも集中して学習するようになりました。履修した科目は全て、自分の興味があるものばかり。学んでみたいことが多く揃っていたからこそ、学習に意欲があるのか…
- 3: 話し方の改善です。というのも、早口になったり、口ごもってしまったりしてしまうことが多かったからです。これから、機会がある度に、矯正していきたいです。



長澤恵里奈さん
農学部1年

- 1: 帰省したり、自動車学校やバイトに通ったりしました。
- 2: 高校まではあまり積極的に団体などに参加することがなかったのですが、大学に入って色んな団体に入り、いろいろな人に出会えて考え方も成長しました。
- 3: 今しかできないことを見つけて、挑戦していきたいです。



学生幹事ミーティング



火原諒子さん
理学部4年

- 1: 私は大学院入試受験のために、英語や理科科目の勉強をしていました。勉強し始めて気づいたことですが、基盤共通教育で習ったことでも、四年生になると忘れていることが多数あったため、基礎から勉強し直す良い機会になりました。
- 2: 実家を離れたことで、生活費を上手くやりくりしながら生活できるようになりました。
- 3: これから卒業に向けては卒業研究が佳境に入ります。後輩たちの力になるような研究成果や卒業論文が残せるように、目一杯研究に挑戦したいです。



藤本壽哉さん
理学部4年

- 1: 前半は遠出が多かった印象です。後半はサークルのイベントの準備がほとんどでした。やることが多く大変でしたが、楽しく準備を行え、優秀な後輩たちの助けもあり、無事にイベントを成功させられたと思います。
- 2: 私は自堕落になったと感じます。大学に入って一人暮らしをしてから自由に生活することができてしまい、規則正しい生活が体から抜け出ている感じがしますね。卒業も近いので何とか生活力を高めていきたいと思っています。
- 3: 最近爬虫類がかわいいと思えてきて、特に蛇がかわいいので飼いたいとは思っています。ペット禁止で金銭的にも厳しいのでいずれ飼ってみたいという感じです。



八峰祭で芋煮出店

理学部卒の武田祐子さん(元フジテレビアナウンサー)が講演されました

令和4年7月21日(木)、理学部卒の武田祐子さん(元フジテレビアナウンサー)が、基盤教育322教室で講演されました。

これは、今年度開講した基盤共通教育「地域とともに歩んだ山形大学144年史(歴史学)担当:佐藤琴、小幡圭祐」の特別講演」として実現したもので、1年生を中心に100名超の学生が受講しました。



自己紹介する武田さん

本学附属幼稚園、小・中学校、そして理学部生物学科卒という“筋金入りの山大卒”である武田さんは、山大入学の経緯、学生生活、アナウンサーになったきっかけ、そしてアナウンサーとしての仕事内容など、後輩学生との対話を楽しむように講演。山形大好きだった学生が東京で生活することになったことを振り返り、人との触れ合いや幅広くチャレンジすることが大事で、豊かな感性を磨き、経験したことはなるべく

言葉にしてアウトプットすべきと、学生たちにメッセージを送りました。

約1時間の講演の後は、本学人文学部卒で医学部学務課の豊田龍平さんによる進行で学生との質疑応答がなされ、メッセージを送られた学生は、「今日の話聞いて頑張ろうと思いました」と述べました。

最後は、最後列で聴講していた玉手英利学長がサプライズで登場し、武田さんへの御礼のあいさつを述べ、受講生皆で集合写真を撮りました。



最後に集合写真

令和4年度山形大学校友会学生幹事委嘱状交付式を行いました

令和4年5月23日(月)、法人本部第二会議室において、令和4年度山形大学校友会学生幹事委嘱状交付式を、感染対策を徹底して行いました。

今年度の学生幹事は各学部から推薦された12名で、交付式には9名が出席しました。

冒頭、玉手英利会長(学長)から、「この大学をもっとおもしろい大学にしたいと思っています。学生幹事の皆さんには、自由な発想で、閉塞感を打ち破るようなおもしろい大学

にしていきたい。」と期待が述べられました。

その後、一人ひとりの学生幹事に玉手会長から委嘱状が交付され、樋口校友会事務局長から、校友会の概要説明と学生幹事の活動についての説明がありました。

出席した学生幹事からは、早くも今年の活動について具体的な提案が出されました。

学生幹事の活動は、随時交流プラットフォームで報告いたしますので、皆さま是非ご期待ください。



一人ひとりに委嘱状を交付



交付式に出席した皆さん

第34回山形大学校友会理事会を開催しました

令和4年6月13日(月)に第34回山形大学校友会理事会を開催しました。

今回は、法人本部第一会議室をメイン会場として、オンラインも併用し、理事・監事19名が出席しました。

冒頭、玉手会長(山形大学長)が、「コロナ禍から3年が経ち、校友会事業も大きな影響を受けています。このような中、校友会事業は、“学生にとって真に求められる事業は何か?”の視点で、前例にとらわれることなく、新たな発想で考えていきたい。本日は活発な議論をお願いしたい」とあいさつし、議事が進行されました。概要は以下のとおりです。



会場の法人本部第一会議室

1. 令和3年度校友会支援事業並びに収支決算報告について

令和3年度の校友会支援事業の報告と収支決算書を了承

2. 令和4年度校友会支援事業計画並びに収支予算書(案)について

令和4年度の校友会支援事業と収支予算書を了承

3. 令和4年度校友会「学生幹事」の選出について

各学部から推薦のあった12名の学生幹事について報告、了承

了承後、2名の学生幹事があいさつ

4. その他

(1) 山形大学卒業生等首都圏ネットワーク総会からの提案について
文言を一部修正する

(2) 令和4年度校友会の年間スケジュールについて
了承

(3) 「山形大学交流プラットフォーム」の開設について
6月1日の開設報告と利用促進依頼

山形大学校友会支援事業一覧

☆令和4年度校友会支援事業として決定した29件の事業名は次のとおりです。

- ①大学間交流協定大学への短期派遣留学生校友会支援事業
- ②博士課程学生研究発表奨励事業
- ③各キャンパス大学祭&新入生歓迎フェスティバルへの支援

- ④公認サークルへの支援
- ⑤地域の未来を担う公務員志望学生に特化した早期自己開発キャリア支援
- ⑥学生によるキャリアCaféの運営
- ⑦英語合宿
- ⑧校友会推薦図書コーナー「後輩には是非、こんな本を読ませたい!」
- ⑨山形大学・米沢栄養大学・米沢女子短期大学雪合戦大会
- ⑩合同企業説明会参加学生への就活応援セット提供と卒業後の校友会支援の周知
- ⑪「外国人との対話の先に見える世界」発見プログラム
- ⑫科学で子供たちに笑顔を届け隊
- ⑬山形大学SDGs始動事業
- ⑭データサイエンススタディセッション(DSSS)
- ⑮同窓生と在学生をつなぐ「山形大学史」資料アーカイブ構築
- ⑯山大学生による山形大学の魅力発信プロジェクト「TAG(仮)」
- ⑰「山形美術館キャンパスメンバーズ制度」を活用した修学支援
- ⑱「山形大学留学生OBから見た日本の企業文化及び会社へのアプローチ方法」本を出版
- ⑲障がい学生への早期キャリア支援
- ⑳庄内ビーチサッカー大会
- ㉑山形大学校友会大学院学生表彰制度
- ㉒校友会会員となった新入生への入会記念品の贈呈
- ㉓若手卒業生の組織化支援
- ㉔卒業生と大学・学生との連携推進事業
- ㉕校友会「学生幹事」による校友会PRと自主的な活動支援
- ㉖卒業・修了留学生への記念品の贈呈
- ㉗山形大学校友会交流プラットフォーム事業～With Coronaの学生支援事業～
- ㉘各キャンパス等のイベントを利用した校友会及び同窓会のPR
- ㉙各学部同窓会と校友会の情報共有事業



挨拶をする学生幹事の藤本壽哉さん(左)と火原諒子さん(右)

各キャンパスメッセージボードで「交流プラットフォーム」を広報

「交流プラットフォーム」の公開に伴い、特に学生の皆さんの目に留まりやすいように各キャンパスに設置しているメッセージボードにポスターを掲示しました。



メールマガジンへの登録及び卒業生寄稿のお願い

- 校友会では、メールマガジン「みどり樹通信」を毎月配信し、山形大学や校友会に関する情報を提供しています。メールマガジンは、校友会ホームページ上から簡単に申し込みができます。
 - 卒業生の皆さまからの寄稿を広く募集しています。山形大学や在学生への応援メッセージ、学生時代の思い出などなんでも結構です。
- ※ご寄稿いただける場合は、校友会事務局までお知らせください。



読者アンケート

前号から読者アンケートを実施しています。皆さまとの双方向コミュニケーションを図り、この会報が「山形大学コミュニティの醸成・強化」に貢献できるよう内容を充実してまいりますので、是非ご協力願います。



校友会への入会案内

山形大学校友会に未だ加入されていない卒業生の皆さまへ（お願い）

校友会は、学生の修学、課外活動及び就職活動並びに全学的な交流活動の支援を行うと共に、会員相互の親交を図り「山形大学コミュニティ」の醸成や強化に資するために様々な事業を展開しています。具体的な事業は、会報に掲載しているとおりですが、これらの事業は、在学生、卒業生、役員、教職員及び本会趣旨賛同者の生涯会費（1万円）により行われています。

ついで、多くの皆さまにご加入をお願い申し上げます。会員（入学時加入会員除く）の方には、定期的に校友会会報や大学の様々な広報誌を送付しています。



入会申込手続き：払込取扱票に必要事項をご記入の上、『郵便為替』により生涯会費1万円をお振り込みください。（払込取扱票は、校友会事務局にありますので、ご連絡ください。）

入会日：会費の納入により入会となります。

編集後記

過去2シーズンは感染報告が低水準だったインフルエンザが今シーズンは早期流行や新型コロナウイルスとの同時流行が懸念されているとのニュースが流れています。

学生の皆さん、コロナやインフルに負けず、有意義なキャンパスライフを送り、楽しい思い出をたくさん作りましょう。

（校友会事務局次長 鈴木）

山形大学エンrollment・マネジメント部
山形大学校友会事務局

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

TEL:023 (628) 4867 FAX:023 (628) 4185

E-mail:yu-kouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〈校友会ホームページ〉<https://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/>



校友会 HP



Twitter



Facebook



Instagram